

- 償却上手くんα VERSION:5.110
- 償却上手くんαクラウド・償却上手くんαクラウド SE VERSION:5.110

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力・計算書

➤ 資産データ入力

- ① 部分減少の処理をした場合に、当年評価額の基となる前年評価額を計算する際の限度額の計算に誤りがあったのを修正しました。
また、前年評価額の計算を行う際の限度額の計算にも誤りがあったのを修正しました。
- ② 特別・過不足等タブの普通繰越超過がある資産に、普通過不足区分があった場合の処理方法に誤りがあったのを修正しました。

◆ 導入・更新

➤ 翌期更新

- ① 一括で翌期更新を行う際に「この操作を実行するために接続を使用できません。このコンテキストで閉じているのかあるいは無効です」とメッセージが表示されて更新することができなかったのを修正しました。

◆ その他の修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“減価償却 d b (VERSION: 5.110) の変更点” を参照してください。

ご注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りが行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

減価償却 db (VERSION:5.110) の変更点

修正

I. 登録・入力・計算書

1) 資産データ入力

- ①部分減少の処理をした場合に、当年評価額の基となる前年評価額を計算する際の限度額の計算に誤りがあったのを修正しました。

また、前年評価額の計算を行う際の限度額の計算にも誤りがあったのを修正しました。

《対応詳細》

- (1)当年評価額の基となる前年評価額を計算する場合

修正前 … 減少前の取得価額×5%

修正後 … 減少後の取得価額×5%

- (2)前年評価額の計算を行う場合

修正前 … 減少後の取得価額×5%

修正後 … 減少前の取得価額×5%

《再計算》

- ・当プログラムで初回起動時にマスターバージョンアップを行い、再計算を行います。

- ②特別・過不足等タブの普通繰越超過がある資産に、普通過不足区分があった場合の処理方法に誤りがあったため、下記のように修正しました。

《対応詳細》

- 普通過不足額を計算する処理において、償却限度額が償却可能額を上回る場合に、自動計算した金額を普通償却過不足に設定する処理を行った後で、特別・過不足等タブで設定している不足金額を普通償却過不足に再設定する処理を追加する対応を行います。

- 再設定処理を行う条件

普通過不足区分が「全額不足」「不足金額」「不足：率」の場合

- 区分別の処理内容

- 1.「全額不足」の場合

→普通償却限度額と同額を普通償却過不足に設定します。

- 2.「不足金額」「不足：率」の場合

→金額に応じて以下のいずれかの処理を行います。

- i.普通償却限度額が償却可能額を上回っている場合

- ・自動計算した普通過不足額 < 特別・過不足で設定した過不足額の場合

→特別・過不足で設定した過不足額を普通償却過不足額に設定します。

- ・自動計算した普通過不足額 ≥ 特別・過不足で設定した普通過不足額の場合

→自動計算された普通償却過不足額をそのまま使用します。

※自動計算した普通過不足額より小さい金額を設定すると、普通償却額が期首簿価を上回ってしまうため。

- ii.普通償却限度額が償却可能額以下の場合

→特別・過不足で設定した過不足額を普通償却過不足額に設定します。

《再計算》

- ・当プログラムで初回起動時にマスターバージョンアップを行い、再計算を行います。

Ⅱ. 導入・更新

1) 翌期更新

- ①一括で翌期更新を行う際に「この操作を実行するために接続を使用できません。このコンテキストで閉じているのかあるいは無効です」とメッセージが表示されて更新することができなかったのを修正しました。

以 上